

2027年3月期第2四半期　決算説明資料

米国会計基準(US GAAP)

2026年10月

野村ホールディングス株式会社

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

© Nomura

目次

プレゼンテーションの概要

エグゼクティブ・サマリー P2-3
安定収益の推移 P4
ローリング4四半期平均 P5
2027年3月期決算の概要 P6
セグメント情報 P7
ウェルス・マネジメント部門 P8-10
インベストメント・マネジメント部門 P11-12
ホールセール部門 P13-15
バンキング部門 P16-17
金融費用以外の費用 P18
強固な財務基盤を維持 P19

Financial Supplement

バランス・シート関連データ P21
バリュー・アット・リスク P22
連結決算概要 P23
連結損益 P24
連結決算：主な収益の内訳 P25
連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失) P26
セグメント「その他」 P27
ウェルス・マネジメント部門関連データ P28-31
インベストメント・マネジメント部門関連データ P32-33
ホールセール部門関連データ P34
人員数 P35

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2027年3月期上半期の決算ハイライト

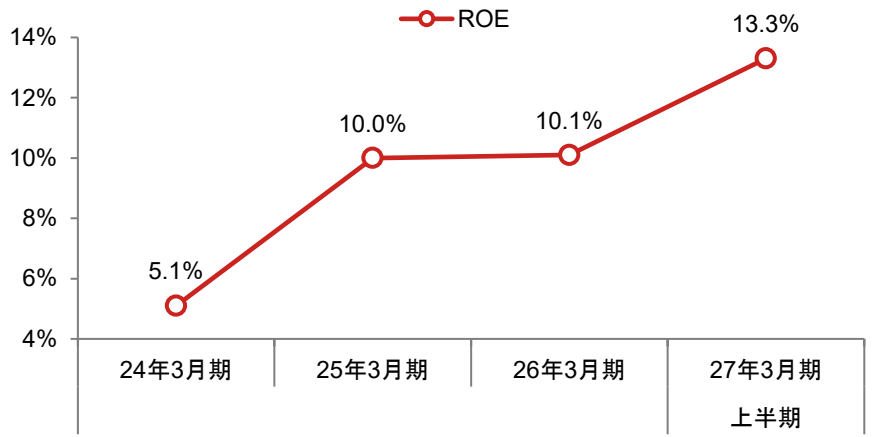
上半期のROEは13.3%　～ 2030年経営ビジョンの達成に向けて順調に進捗

- 全部門が増益に貢献し、4セグメント合計の税前利益は5割増を達成。稼ぐ力が大幅に向上
- ストック型ビジネスの拡大を背景に、安定収益は前年同期比で約1.6倍に成長
- 構造改革の成果が表れ、ROEは着実に改善

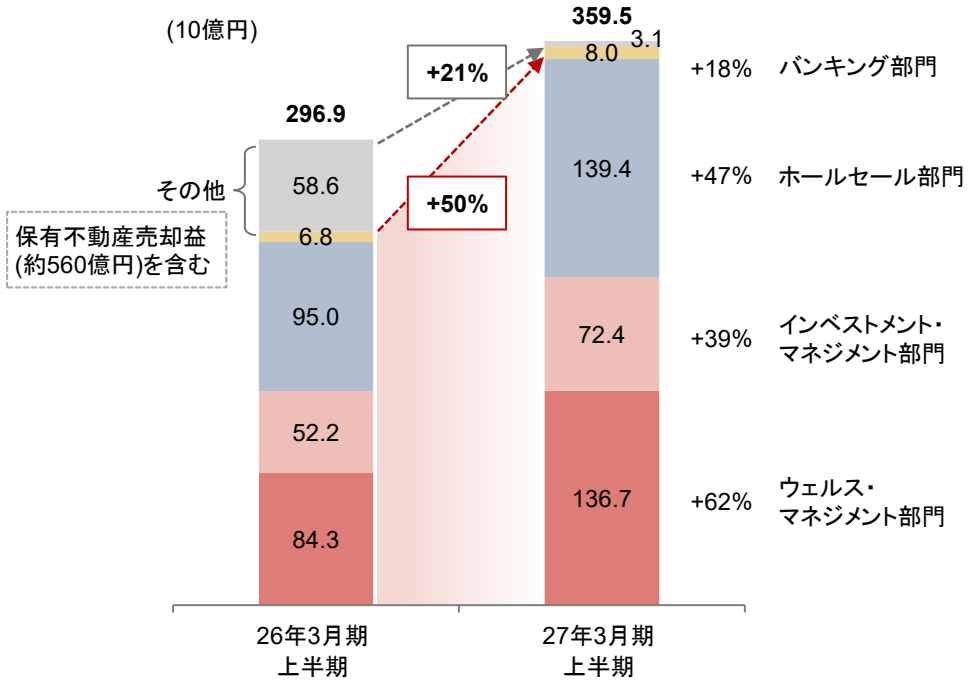
1株当たり配当金

中間 35円

	26年3月期 上半期	27年3月期 上半期	前年同期比
収益(金融費用控除後)	10,388億円	**12,942億円**	**25%**
税前利益	2,969億円	**3,595億円**	**21%**
当期純利益[1]	1,966億円	**2,493億円**	**27%**
EPS[2]	64.53円	**82.97円**	**29%**
ROE[3]	11.3%	**13.3%**	



税前利益:セグメント情報



1. 当社株主に帰属する当期純利益
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

エグゼクティブ・サマリー(2/2)

2027年3月期第2四半期の決算ハイライト

堅調な業績を維持、ROE[1]は 10.9%

- 前四半期からは減収減益も収益・利益は堅調
- ROEは、2四半期連続で2030年経営ビジョンの新目標10~12%+を達成
- 不透明な市場環境下において中長期的な資産形成ニーズを着実に捉え、安定収益が拡大

- 全社収益: 6,075億円(前四半期比12%減)、税前利益: 1,480億円(同30%減)、当期純利益[2]: 1,037億円(同29%減)、EPS[3]: 34.61円
- **4セグメント税前利益: 1,434億円(同33%減)**

ウェルス・マネジメント部門
- 不透明な市場環境下でも高水準の業績を維持
- 資産管理ビジネスの進展を背景に、ストック資産純増は約7,500億円と過去最高を更新
- ストック収入費用カバー率は79%に上昇、業績の安定性はさらに向上

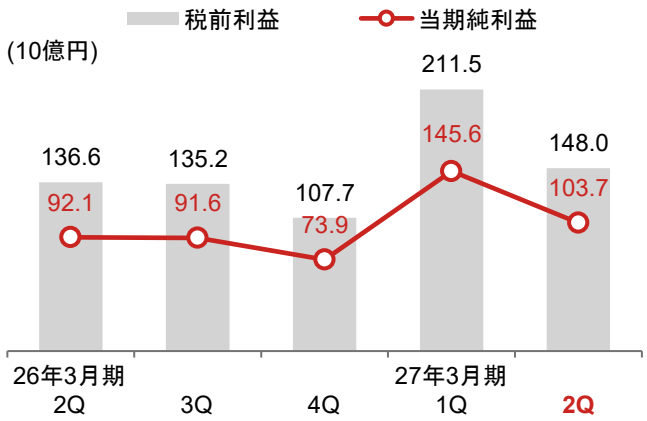
インベストメント・マネジメント部門
- 運用資産残高は高水準を維持し、事業収益は堅調に推移
- 新規設定ファンドやバランス型のファンドを中心に資金流入が継続

ホールセール部門
- 部門設立以来の好業績となった前四半期からは減収減益
- グローバル・マーケッツは前四半期の反動で平準化するも、エクイティは引き続き高水準の収益
- インベストメント・バンキングは主要プロダクトで好調なモメンタムを維持し、増収

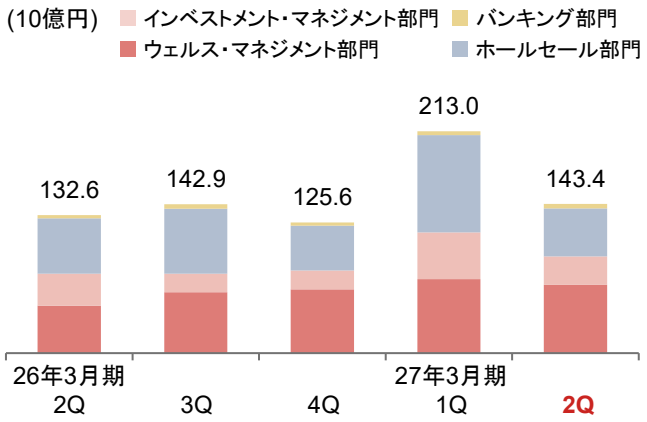
バンキング部門
- KPIの進捗と金利上昇が寄与し、貸出業務や信託・エージェント業務からの収入は堅調に推移
- 預金スイープサービスの契約件数、残高が順調に拡大し、顧客基盤と預金調達力が向上

税前利益、当期純利益[2]の推移

全社



4セグメント税前利益

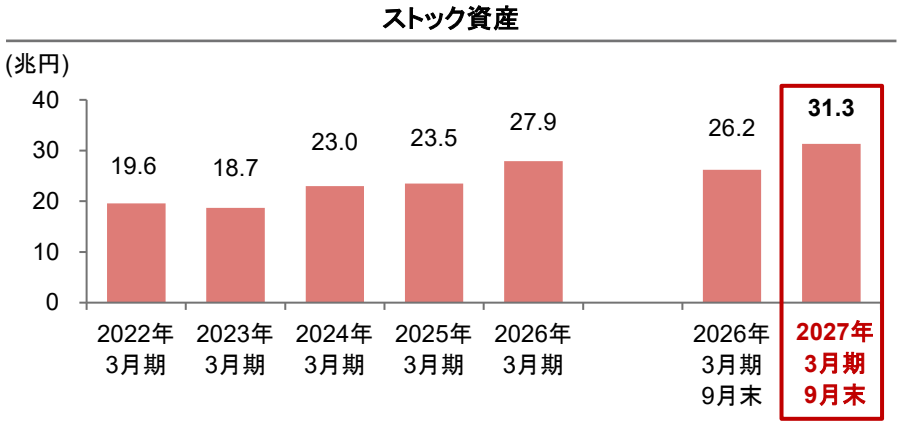


1. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
2. 当社株主に帰属する当期純利益
3. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

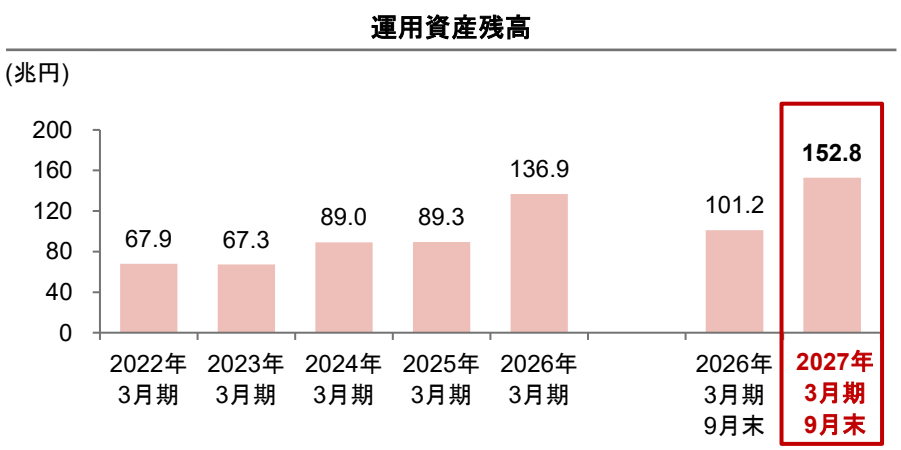
安定収益の推移：
ストック型ビジネスの拡大を背景に、安定収益は前年同期比で約1.6倍に

インフローを伴い、ストック資産および運用資産残高は増加

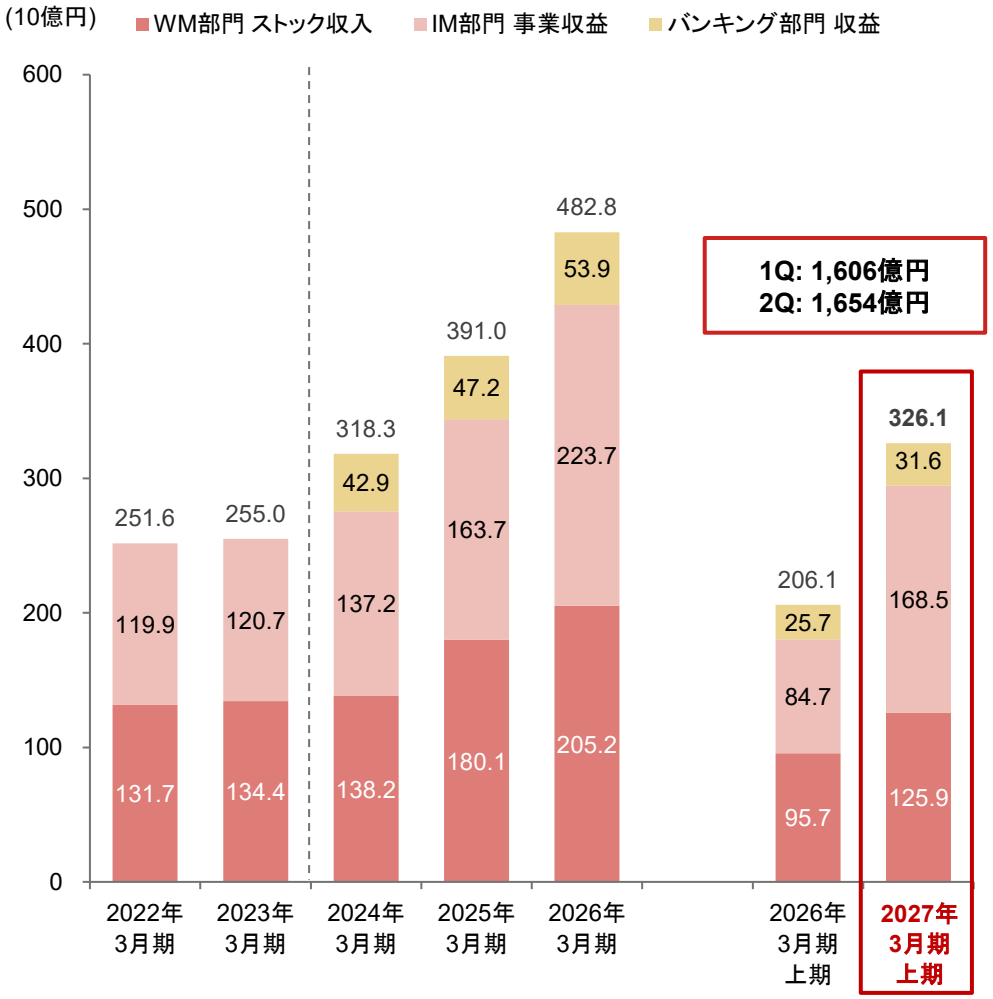
ウェルス・マネジメント部門(WM部門)



インベストメント・マネジメント部門(IM部門)



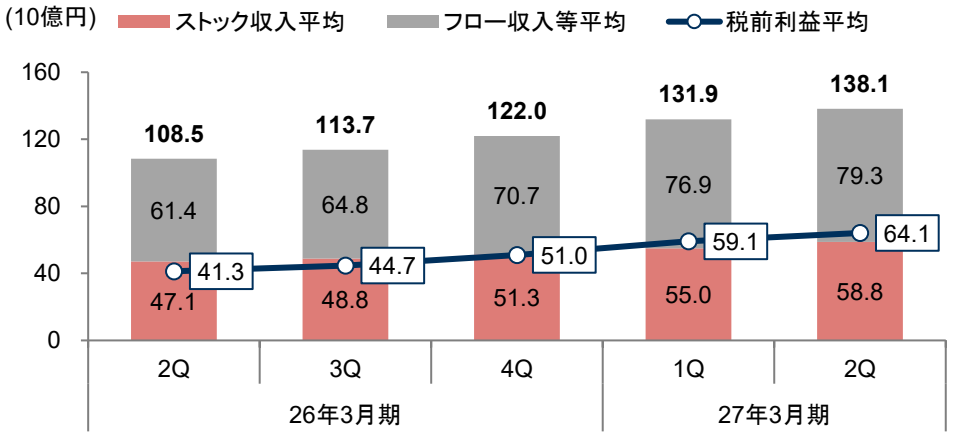
安定収益[1]は着実に拡大[2]



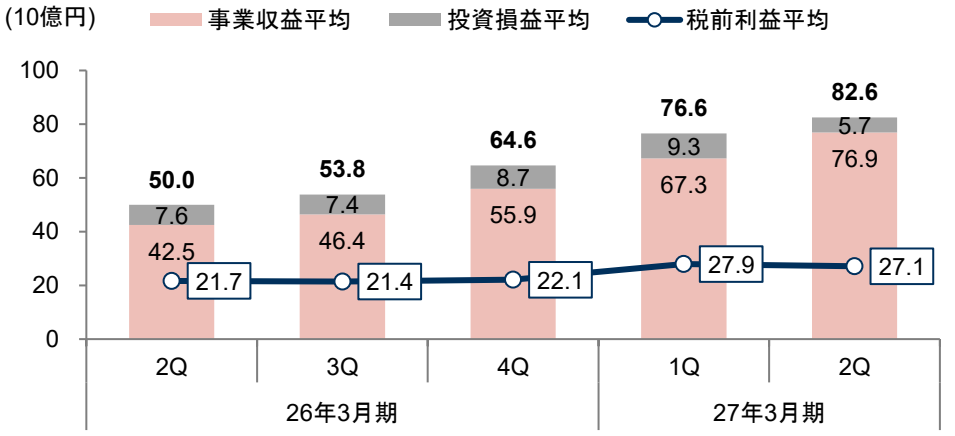
1. ウェルス・マネジメント部門のストック収入、インベストメント・マネジメント部門の事業収益、バンキング部門の収益の合計値
2. バンキング部門の収益の一部は従来、ウェルス・マネジメント部門のストック収入に含まれていたが、2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2026年3月期第1四半期以降、区分して開示。
   2024年3月期および2025年3月期の数値については遡及修正を行ったが、それ以前の会計年度については遡及修正は行っていない

ローリング4四半期平均[1] 部門別の収益・税前利益

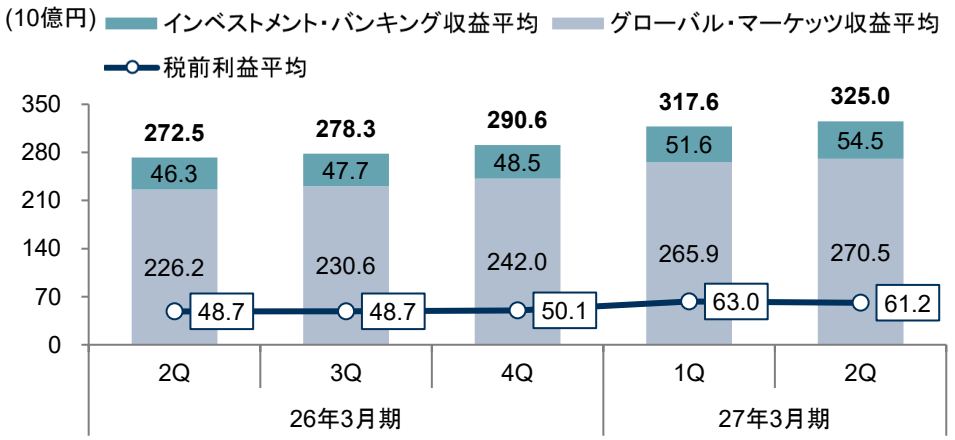
ウェルス・マネジメント部門[2]



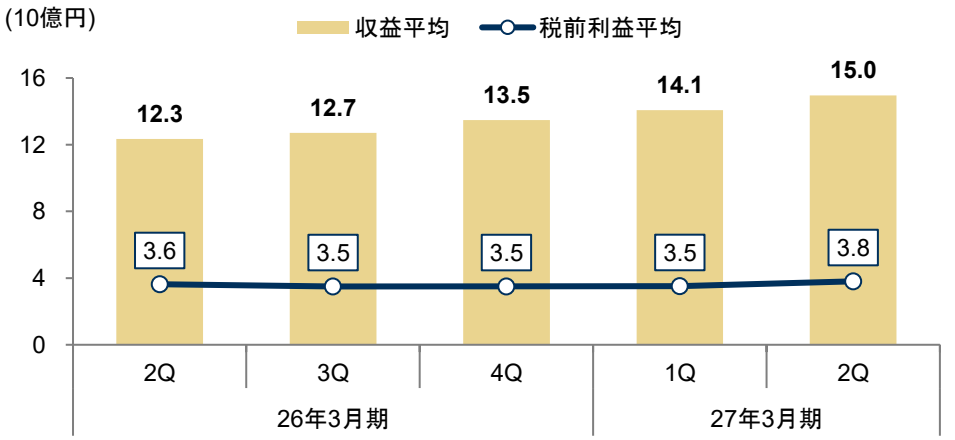
インベストメント・マネジメント部門



ホールセール部門



バンキング部門[2]



1. 当該四半期を含む直近4四半期の収益および税前利益を単純平均して算出
2. 2025年4月のバンキング部門設立に伴い、ウェルス・マネジメント部門に含まれていたバンキングビジネス分の数値(2025年3月期以前)を遡及修正した後の収益および税前利益を用いて算出

2027年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS、BPS、ROEを除く)	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比	26年3月期	27年3月期	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			上半期	上半期	
収益合計(金融費用控除後)	515.5	551.8	577.2	686.7	**607.5**	**-12%**	**18%**	1,038.8	**1,294.2**	**25%**
金融費用以外の費用	378.8	416.5	469.5	475.2	**459.5**	**-3%**	**21%**	741.9	**934.7**	**26%**
税前利益	136.6	135.2	107.7	211.5	**148.0**	**-30%**	**8%**	296.9	**359.5**	**21%**
当期純利益[1]	92.1	91.6	73.9	145.6	**103.7**	**-29%**	**13%**	196.6	**249.3**	**27%**
実効税率	*29.9%*	*30.1%*	*28.9%*	*26.2%*	***28.1%***			*31.5%*	***27.0%***	
EPS[2]	30.49円	30.19円	24.34円	48.34円	**34.61円**	**-28%**	**14%**	64.53円	**82.97円**	**29%**
BPS[3]	1,188.05円	1,244.72円	1,277.99円	1,311.94円	**1,291.77円**	**-2%**	**9%**	1,188.05円	**1,291.77円**	**9%**
ROE[4]	10.6%	10.3%	8.0%	15.4%	**10.9%**			11.3%	**13.3%**	
参考										
海外拠点税前利益[5、6]	*44.9*	*16.3*	*2.9*	75.2	***26.4***	***-65%***	***-41%***	*72.3*	***101.6***	***40%***

1. *当社株主に帰属する当期純利益*
2. *希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益*
3. *一株当たり株主資本*
4. *各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出*
5. *米州、欧州、アジア・オセアニア(インドのポワイ・オフィスを含む)*
6. *米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではない*

セグメント情報

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)

		26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比	26年3月期	27年3月期	前年同期比
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			上半期	上半期	
収益	ウェルス・マネジメント部門	116.5	132.5	133.1	145.4	**141.5**	**-3%**	**22%**	222.3	**286.9**	**29%**
	インベストメント・マネジメント部門	60.8	60.9	86.2	98.3	**84.8**	**-14%**	**39%**	111.4	**183.1**	**64%**
	ホールセール部門	279.2	313.9	308.1	369.1	**308.9**	**-16%**	**11%**	540.3	**678.0**	**26%**
	バンキング部門	12.9	13.7	14.5	15.2	**16.4**	**7%**	**27%**	25.7	**31.6**	**23%**
	4セグメント合計	**469.3**	**521.0**	**542.0**	**628.1**	**551.6**	**-12%**	**18%**	**899.6**	**1,179.7**	**31%**
	その他(※)	44.4	28.1	31.2	53.1	**50.0**	**-6%**	**13%**	137.5	**103.1**	**-25%**
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	1.8	2.7	4.0	5.5	**5.8**	**5%**	**3.3x**	1.6	**11.4**	**7.0x**
	収益合計(金融費用控除後)	**515.5**	**551.8**	**577.2**	**686.7**	**607.5**	**-12%**	**18%**	**1,038.8**	**1,294.2**	**25%**
税前利益(損失)	ウェルス・マネジメント部門	45.5	58.5	61.2	71.1	**65.6**	**-8%**	**44%**	84.3	**136.7**	**62%**
	インベストメント・マネジメント部門	30.7	17.9	18.1	45.0	**27.4**	**-39%**	**-11%**	52.2	**72.4**	**39%**
	ホールセール部門	53.1	62.3	43.2	93.3	**46.1**	**-51%**	**-13%**	95.0	**139.4**	**47%**
	バンキング部門	3.2	4.2	3.0	3.6	**4.4**	**20%**	**37%**	6.8	**8.0**	**18%**
	4セグメント合計	**132.6**	**142.9**	**125.6**	**213.0**	**143.4**	**-33%**	**8%**	**238.4**	**356.4**	**50%**
	その他(※)	2.3	-10.3	-22.0	-7.0	**-1.2**	-	-	56.9	**-8.2**	-
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	1.8	2.7	4.0	5.5	**5.8**	**5%**	**3.3x**	1.6	**11.4**	**7.0x**
	税前利益(損失) 合計	**136.6**	**135.2**	**107.7**	**211.5**	**148.0**	**-30%**	**8%**	**296.9**	**359.5**	**21%**

※ 2027年3月期第2四半期の「その他」に関する補足

- 経済的ヘッジ取引に関連する損失(-19億円)
- デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(-11億円)

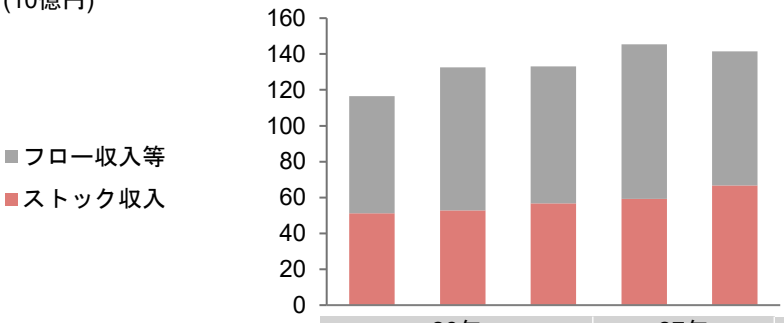
ウェルス・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	116.5	132.5	133.1	145.4	**141.5**	**-3%**	**22%**
金融費用以外の費用	71.0	74.0	71.9	74.3	**75.9**	**2%**	**7%**
税前利益	45.5	58.5	61.2	71.1	**65.6**	**-8%**	**44%**

収益の内訳

(10億円)



	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
ストック収入[1]	51.2	52.7	56.8	59.2	**66.7**	**13%**	**30%**
フロー収入等[2]	65.3	79.8	76.4	86.2	**74.8**	**-13%**	**15%**
収益合計(金融費用控除後)	116.5	132.5	133.1	145.4	**141.5**	**-3%**	**22%**

決算のポイント

収益:　1,415億円(前四半期比3%減、前年同期比22%増)
税前利益:　656億円(前四半期比8%減、前年同期比44%増)

- 資産管理ビジネスの進展により、不透明な市場環境下でも高水準の業績を維持
  - ストック収入が伸長、フロー収入も高水準
  - 中長期的なコスト最適化を目的とした一時的な不動産関連費用により前四半期比で微増も、税前利益率は高水準を維持
  - ストック収入費用カバー率[3]は79%に達し、部門業績の安定性はさらに向上

ストック収入

- ストック資産の純増額は過去最高(+7,554億円)　～ポートフォリオ管理に基づく分散投資の浸透により、中長期保有を目的とした資産への純流入が拡大。市場環境に左右されずストック資産の積み上げが加速
- ストック収入も過去最高を更新　～ストック資産の大幅な純増に加え、半期ごとに収受する投資助言報酬が貢献

フロー収入等

- フロー収入等は前四半期比13%減　～株式取引に一服感が見られる中、複数の大型案件が寄与し、高水準を維持

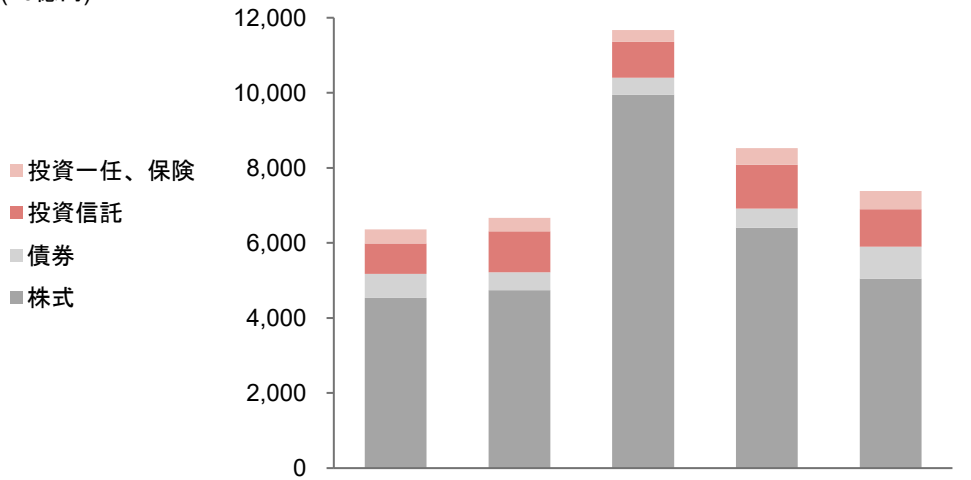
資産拡大項目	27年3月期 1Q	27年3月期 2Q
投信純増[4]	+3,755億円	**+3,837億円**
投資一任純増[4]	+1,891億円	**+2,269億円**
現金本券差引[5]	-8兆5,582億円	**+8,032億円**

1. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)　2. 取引に付随して発生する収入(ブローカレッジ収入、コンサルティング関連収入)、ローン関連以外の金融収益等
3. 直近4四半期累計のストック収入を金融費用以外の費用で除したもの　4. 法人課を除く　5. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

ウェルス・マネジメント部門：
長期分散投資を前提とした資産の買付が進展

総募集買付額[1]

(10億円)



	26年3月期			27年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株式	4,539.9	4,741.3	9,953.3	6,404.0	**5,048.4**
債券	633.4	473.4	447.6	512.0	**851.5**
投資信託	815.2	1,095.1	953.7	1,167.3	**998.6**
投資一任	187.0	221.0	223.6	308.6	**337.9**
保険	185.5	132.7	96.7	131.7	**149.6**
総募集買付額[1]	6,361.0	6,663.4	11,675.0	8,523.7	**7,385.9**

総募集買付額[1]は7兆3,859億円　前四半期比13%減
投資信託、投資一任契約を中心に高水準で推移

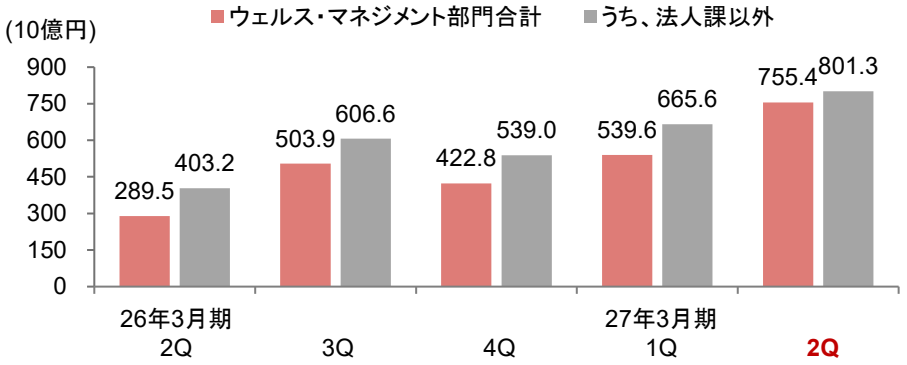
- 株式：前四半期比21%減
  - 日米金利の上昇など先行き不透明感の高まりを背景に、買付額は前四半期比で減少も、高水準を維持
  - プライマリー株式募集額：1,326億円、前四半期比41%減
- 債券販売額：前四半期比66%増
  - 円金利の上昇等を背景に、公社債の買付が伸長。大型プライマリー案件も貢献
- 投資信託：前四半期比14%減
  - テーマ型ファンドでは様子見姿勢が見られた一方、日本株ファンドやバランス型ファンドなどの中長期保有を目的とした資産を中心に資金が流入
- 投資一任契約：前四半期比9%増
  - 多様化する顧客ニーズに応える資産管理ビジネスがより進展し、SMAの契約額は過去最高
- 保険販売額：前四半期比14%増
  - 年金・相続対策ニーズに対応した保険商品の販売額が大きく伸長

1. 法人課およびワークプレイス・ソリューション部を除く

ウェルス・マネジメント部門：KPIサマリー

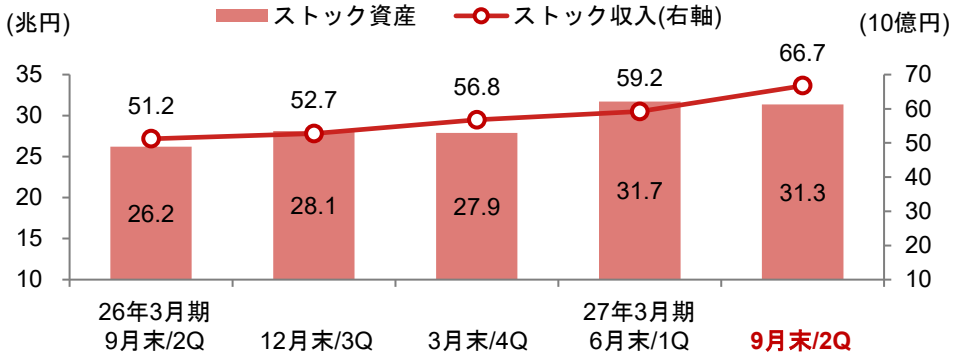
ストック資産純増[1]

- 中長期的な資産形成・資産管理に寄り添う取り組みが進展し、過去最高を更新



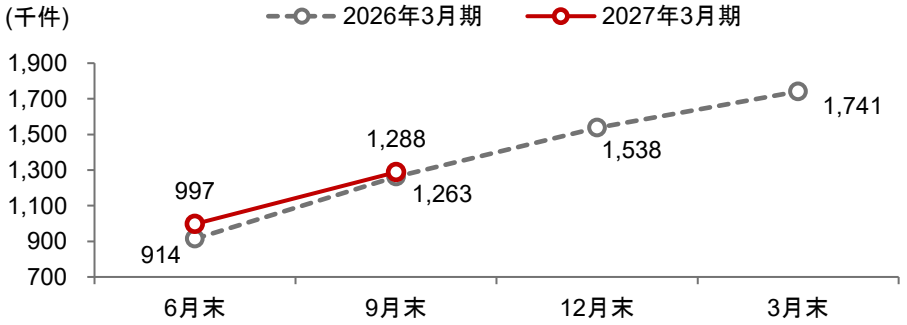
ストック資産およびストック収入[2]

- 市場要因により期末ストック資産残高は微減も、期中の着実な積み上げと、半期毎に収受する投資助言報酬も寄与し、ストック収入は過去最高を更新



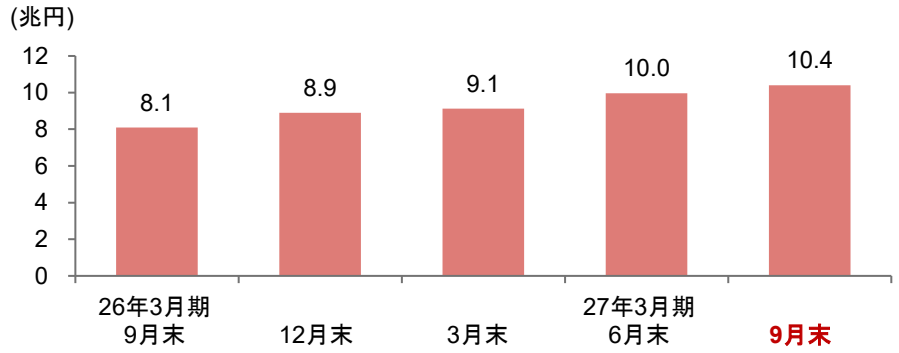
フロービジネス顧客数

- 大型案件による新規開拓も貢献し、フロービジネス顧客数は前年同期を上回る水準で推移



ワークプレイス預り資産

- 持株会からの継続的な資金流入により、堅調に推移



1. 投信分配金による純減を含まず、レベルフィー等口座内の投信純増を控除した数値
2. 残高から発生する収入や継続的に発生する収入(投資信託、投資一任、保険、ローン、レベルフィー等)

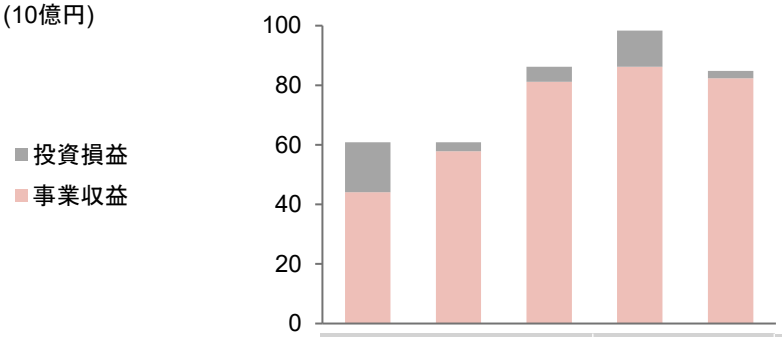
インベストメント・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益[1]

(10億円)	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	60.8	60.9	86.2	98.3	**84.8**	**-14%**	**39%**
金融費用以外の費用	30.1	43.0	68.1	53.3	**57.4**	**8%**	**91%**
税前利益	30.7	17.9	18.1	45.0	**27.4**	**-39%**	**-11%**

収益の内訳

(10億円)



	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
事業収益[1,2]	44.1	57.8	81.2	86.2	**82.3**	**-4%**	**87%**
投資損益[3]	16.8	3.1	5.0	12.1	**2.5**	**-80%**	**-85%**
収益合計(金融費用控除後)	60.8	60.9	86.2	98.3	**84.8**	**-14%**	**39%**

決算のポイント

収益:　848億円(前四半期比14%減、前年同期比39%増)
税前利益: 274億円(前四半期比39%減、前年同期比11%減)

- 収益は、好調だった前四半期を下回るも高水準を維持
  - 事業収益は過去最高だった前四半期から減少も、運用報酬は堅調に推移
  - ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナルにおいて、統合関連の一時費用が増加

事業収益

- 収益:823億円(前四半期比4%減、前年同期比87%増)
  - アセットマネジメント・ビジネスは引き続き堅調
    - 7月に新規設定した日本株アクティブファンドの運用資産残高は1,500億円を突破[4]
    - バランス型のフラッグシップファンドは堅調な資金流入を伴い、運用資産残高はバランス型ファンドで日本一の2兆円目前[4]
  - 航空機リースを手掛ける野村バブコックアンドブラウンは前四半期並みを維持

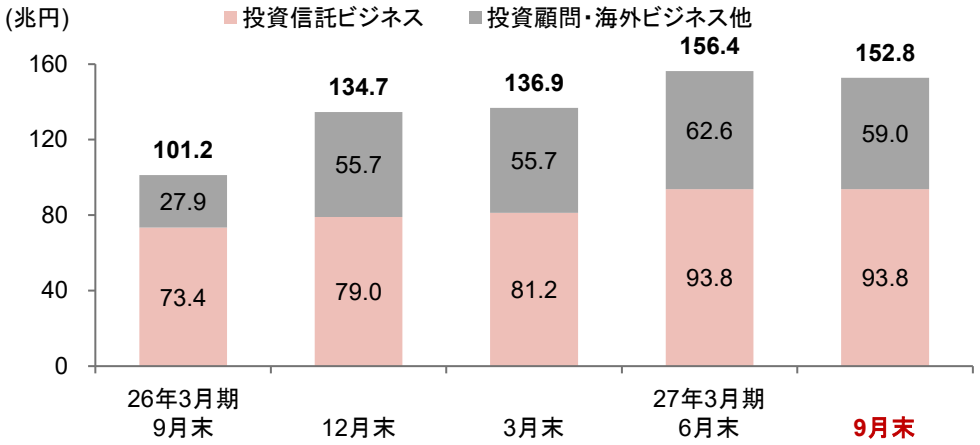
投資損益

- 収益:25億円(前四半期比80%減、前年同期比85%減)
  - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益が減少
  - 野村キャピタル・パートナーズで新規投資を実行し、パイプライン拡充に継続して注力

1. 2025年12月1日よりマッコーリー・グループからのパブリック・アセットマネジメント事業による損益を含む
2. アセットマネジメント事業、航空機リース関連事業の収益およびプライベート・アセット等の投資事業から得られるGP管理報酬を含む収益で構成
3. アメリカン・センチュリー・インベストメンツ関連損益、プライベート・アセット等の投資事業および投資に起因する収益(公正価値の変動、資金調達コスト、運用報酬、配当金を含む)で構成
4. 2026年9月末時点

インベストメント・マネジメント部門：
投信を中心に堅調な資金純流入が継続

運用資産残高(ネット)[1]



期末の運用資産残高は高水準を維持、資金流入は堅調

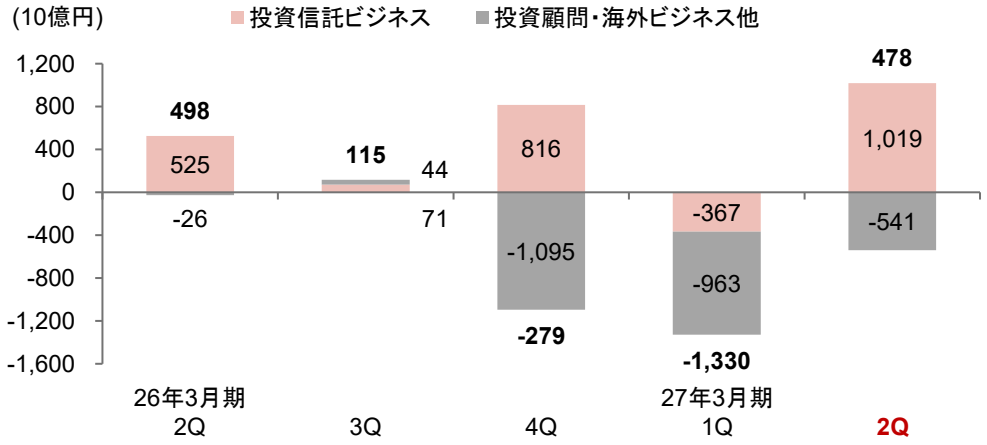
国内投資信託ビジネス

- 投信(ETF、MRF等除く)、ETFともに資金が流入
  - 投信：新規設定ファンドを含む日本株アクティブ、バランス型、プライベート・エクイティに資金が流入
  - ETF：日本株を中心に資金が流入

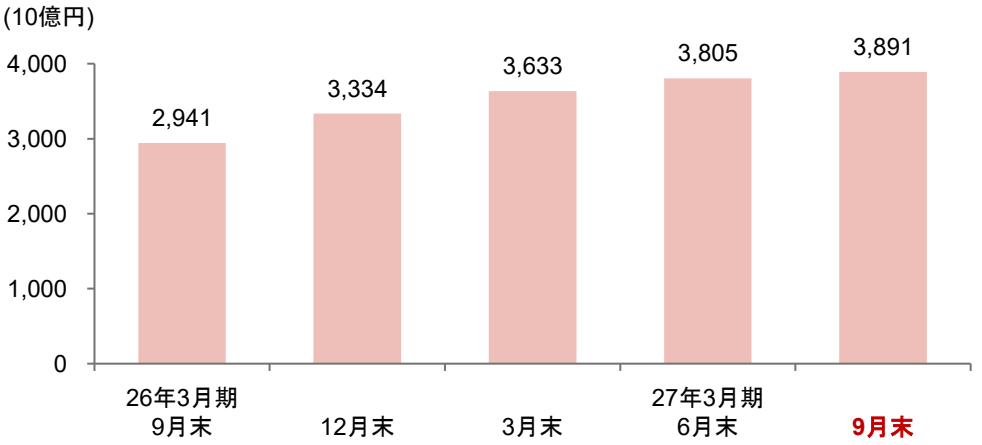
国内投資顧問及び海外ビジネス他

- 国内は、日本債券、プライベート・アセットを中心に資金が流入
- 海外は、米国市場のトレンドに沿ってミューチュアルファンドからの流出が続く一方、米国ハイ・イールド債への資金流入もあり、流出規模は前四半期から縮小

資金純流入[2]



オルタナティブ運用資産残高[3]は資金純流入を伴い過去最高を更新



1. 運用資産残高(ネット)は、インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの
2. 運用資産残高(ネット)に基づく
3. 野村アセットマネジメントのオルタナティブ運用資産残高およびその他インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社のプライベート・アセット等の運用資産残高の合計

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	279.2	313.9	308.1	369.1	**308.9**	**-16%**	**11%**
金融費用以外の費用	226.0	251.6	264.8	275.8	**262.9**	**-5%**	**16%**
税前利益	53.1	62.3	43.2	93.3	**46.1**	**-51%**	**-13%**
経費率	*81%*	*80%*	*86%*	*75%*	***85%***		
収益/調整リスク・アセット[1]	*7.1%*	*7.8%*	*7.6%*	*9.3%*	***7.7%***		

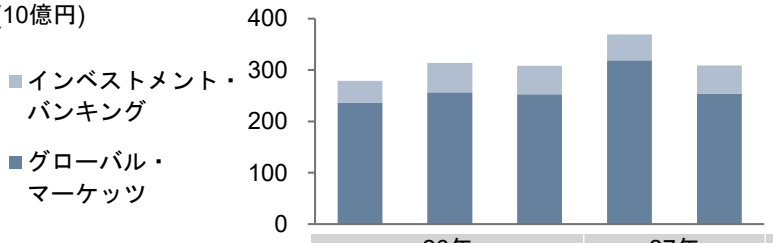
決算のポイント

収益:　3,089億円(前四半期比16%減、前年同期比11%増)
税前利益:　461億円(前四半期比51%減、前年同期比13%減)

- 地政学リスクによるインフレ再燃懸念や金利上昇などの先行きの不透明感を背景に、収益は高水準であった前四半期から平準化
  - グローバル・マーケッツは引き続きエクイティが高水準を維持
  - インベストメント・バンキングはアドバイザリー、ファイナンス、ソリューション等、主要プロダクトで増収
  - ビジネス関連費用の減少に加え、継続的なコスト・コントロールにより費用を抑制

ビジネスライン別の収益

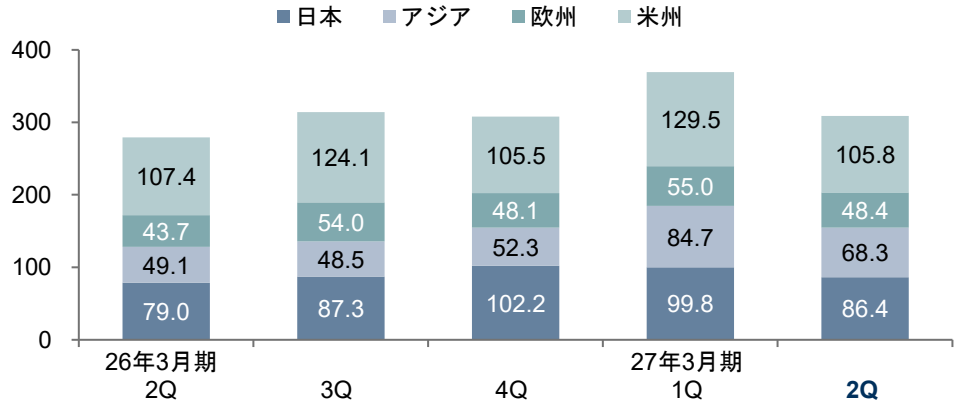
(10億円)



	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
グローバル・マーケッツ	235.7	256.8	252.5	318.7	**254.2**	**-20%**	**8%**
インベストメント・バンキング	43.5	57.1	55.6	50.4	**54.7**	**9%**	**26%**
収益合計(金融費用控除後)	279.2	313.9	308.1	369.1	**308.9**	**-16%**	**11%**

地域別収益

(10億円)

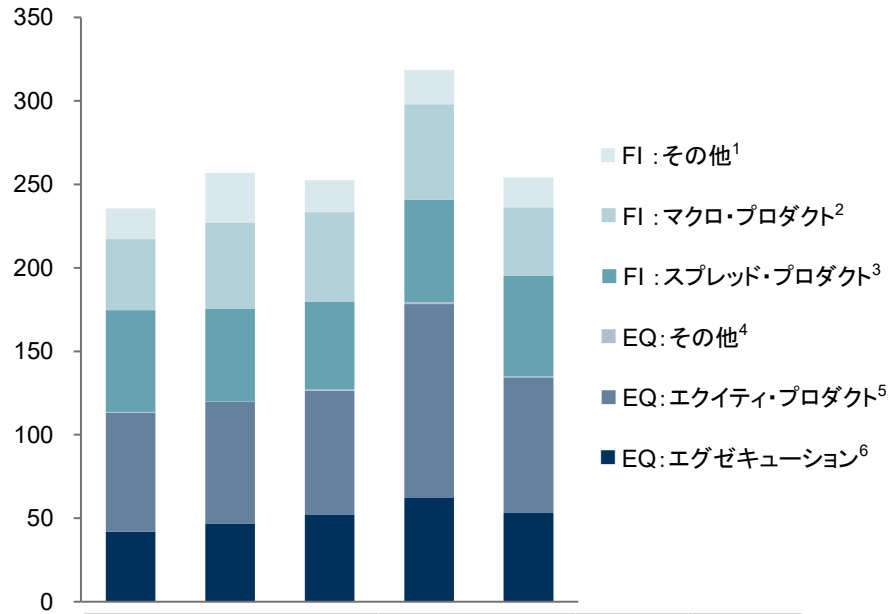


1. ホールセール部門収益合計(金融費用控除後、年換算)を、ホールセール部門が使用する調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)で除したもの。調整リスク・アセット(各会計期間の日次平均)は米国会計原則に基づかない指標で、(1)バーゼルIII規制のリスク・アセットと、(2)バーゼルIII規制の資本調整項目を当社が内部で設定する最低資本比率で除して算出したリスク・アセット相当額の合計。なお、2026年3月期1Qより、バーゼルIII最終化後ベース

ホールセール部門:グローバル・マーケッツ

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



	26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**		
フィクスト・インカム(FI)	121.9	136.9	125.3	139.2	**119.2**	**-14%**	**-2%**
エクイティ(EQ)	113.8	119.9	127.2	179.4	**135.0**	**-25%**	**19%**
グローバル・マーケッツ	235.7	256.8	252.5	318.7	**254.2**	**-20%**	**8%**

決算のポイント

収益: 2,542億円(前四半期比20%減、前年同期比8%増)

- フィクスト・インカムは、マクロ・プロダクトの減収をスプレッド・プロダクトが一部相殺し、これまで進めてきた収益源の多様化が奏功。海外富裕層ビジネスは運用資産残高が伸長し、高水準の収益を継続
- エクイティは、好調だった前四半期比でデリバティブが平準化するも高水準を維持

フィクスト・インカム

- 収益:1,192億円(前四半期比14%減、前年同期比2%減)
  - **マクロ・プロダクト**:金利プロダクトは、市場の不透明感が高まるなか、世界的な金利上昇を受け減収。為替/エマージングも好調だった前四半期から減収
  - **スプレッド・プロダクト**:クレジットはスプレッド拡大基調を受けて顧客アクティビティが低調に推移し、減収。証券化商品は米州が牽引し、増収

エクイティ

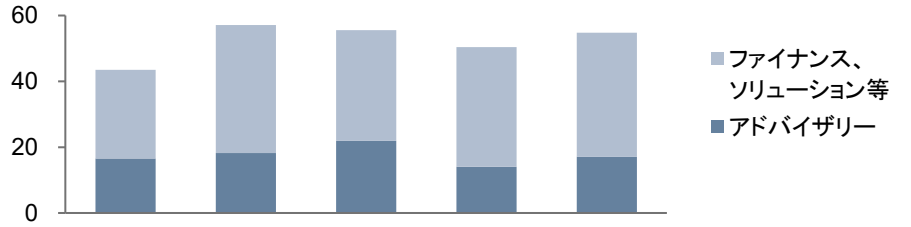
- 収益:1,350億円(前四半期比25%減、前年同期比19%増)
  - **エクイティ・プロダクト**:ファイナンシング系ビジネスは堅調だった一方、デリバティブが前四半期比の反動で減少し、全体では減収
  - **エグゼキューション**:市場の売買代金が前四半期比で低下するなか、減収

1. インターナショナル・ウェルス・マネジメント、インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益　2. 金利プロダクト、為替/エマージング　3. クレジット、証券化商品
4. インベストメント・バンキングとの共管ビジネス、その他各デスクに帰属しない損益　5. キャッシュおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス　6. 株式執行ビジネス

ホールセール部門：インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



26年3月期			27年3月期		前四半期比	前年同期比
2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**		
43.5	57.1	55.6	50.4	**54.7**	**9%**	**26%**

決算のポイント

収益：547億円(前四半期比9%増、前年同期比26%増)

- 日本ECM[1]・DCM[2]リーグテーブル首位
- アドバイザリー、ファイナンス、ソリューション等主要プロダクトで増収

アドバイザリー

- 国内・海外ともに増収。スポンサー関連、インフラを含む複数セクターの成長投資や事業ポートフォリオ再編目的の案件に関与

ファイナンス、ソリューション等[3]

- ECMは引き続き国内で大型PO・CB案件を手掛け、上半期の上位10件[4]のうち9件にブックランナーとして関与
- DCMは国内企業の旺盛な資金需要を背景に、幅広い調達手法により対応。海外はSSA債等の発行を支援
- ソリューション関連ビジネスは国内を中心に引き続き好調

代表的な案件 ～グローバル・フランチャイズを活かして国内外で案件に関与

アドバイザリー

- 電通グループ及び伊藤忠商事による**電通総研**の非公開化（2,152億円）
- **Macquarie Asset Management**によるポーランドにおけるブロードバンド設備のT-Mobile Polandへの売却（$1.157bn）
- **SK Biopharmaceuticals**（韓国）によるオパカリム（てんかん新薬候補物質）の全世界独占開発・販売権のBiohaven（米国）からの取得（$795m）
- Liberty Globalのポートフォリオ企業である**VodafoneZiggo**（オランダ）が保有する電波塔設備のDigitalBridgeへの売却（€669m）
- 第一ライフグループの子会社であるPartners Group（NZ）による**Fidelity Life Assurance Company**（NZ）の取得（NZ$ 630m）
- **日本郵船**によるNSユナイテッド海運の子会社化（合計1,654億円）

ファイナンス、ソリューション等

- **ソフトバンクグループ**：リテール債（1兆円）
- **国際復興開発銀行**：ドル建てサステナブル・ディベロップメント・ボンド（$4.0bn）
- **CANADIAN IMPERIAL BANK OF COMMERCE SYDNEY**：豪ドル建て債（AU$2.5bn）
- **China CITIC Bank International**：人民元建て（CNH1.33bn）およびドル建て（$400m）AT1債
- **ソニー生命**：ドル建て劣後債（$700m）
- **ARCHION**：GPO（2,356億円）
- **川崎重工業**：海外PO（974億円）およびユーロ円CB（1,000億円）
- **Jersey Mike's Subs**：IPO（$1.0bn）
- **清水建設**：ユーロ円CB（1,000億円）
- **日本空港ビルデング**：PO（643億円）

日本関連ECMリーグテーブル[1] (2026年4－9月)

No.		金額(億円)	シェア(%)	件数
1	**野村**	**7,883**	**30.5**	**30**
2	モルガン・スタンレー	4,204	16.2	14
3	みずほ	4,021	15.5	15

日本関連DCMリーグテーブル[2] (2026年4－9月)

No.		金額(億円)	シェア(%)	件数
1	**野村**	**26,086**	**22.6**	**397**
2	大和	25,416	22.0	374
3	SMBC日興	24,347	21.1	390

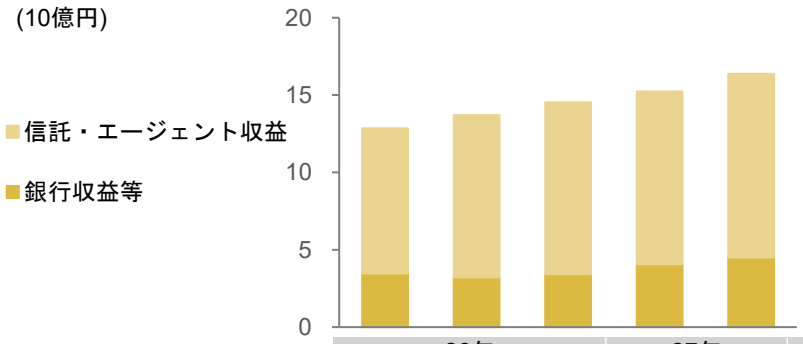
1. 出所:LSEG(2026年4月～9月)の情報を基に野村にて集計の上、作成。 2. 出所：CAPITAL EYE(2026年4月～9月)の情報を基に野村にて集計の上、作成。自社債を除く。主幹事ベース
3. ECM、DCM、買収/レバレッジド・ファイナンス(ALF)、グローバル・マーケッツとの共管ビジネス、その他各プロダクトに帰属しない損益 4. 案件規模ベース

バンキング部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	26年3月期 2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
収益合計(金融費用控除後)	12.9	13.7	14.5	15.2	**16.4**	**7%**	**27%**
金融費用以外の費用	9.7	9.5	11.5	11.6	**12.0**	**4%**	**24%**
税前利益	3.2	4.2	3.0	3.6	**4.4**	**20%**	**37%**

収益の内訳



	26年3月期 2Q	3Q	4Q	27年3月期 1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
銀行収益等[1]	3.5	3.2	3.4	4.1	**4.5**	**11%**	**31%**
信託・エージェント収益[2]	9.4	10.5	11.1	11.2	**11.9**	**6%**	**26%**
収益合計(金融費用控除後)	12.9	13.7	14.5	15.2	**16.4**	**7%**	**27%**

決算のポイント

収益:　164億円 (前四半期比7%増、前年同期比27%増)
税前利益:　44億円 (前四半期比20%増、前年同期比37%増)

- 増収増益を達成。ローン残高・投信受託残高・管理資産残高といったKPIの伸長や市場金利の上昇が寄与

銀行収益等

- 収益:45億円(前四半期比11%増、前年同期比31%増)
  - 預金スイープサービスは、契約件数、預金残高ともに順調に増加。預金残高の伸長により調達コストを抑制
  - 有価証券等の運用残高の拡大に加え、市場金利の上昇も寄与し、運用業務からの収入が伸長

信託・エージェント収益

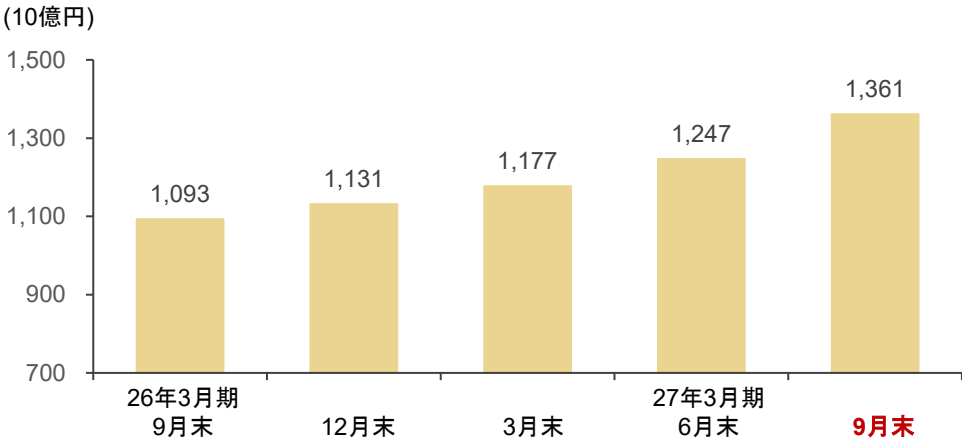
- 収益:119億円(前四半期比6%増、前年同期比26%増)
  - 野村信託銀行は、投資信託の新規受託により残高が増加するとともに、その他信託業務からの収益も伸長し、信託報酬が着実に増加
  - Nomura Bank Luxembourgは、引き続きプライベートアセットに対する日本の投資家からの旺盛な需要を受け、公募・私募ファンドへの資金流入が継続

	27年3月期 6月末	27年3月期 9月末	増減
預金残高[3]	1兆6,642億円	**1兆8,377億円**	**1,735億円**

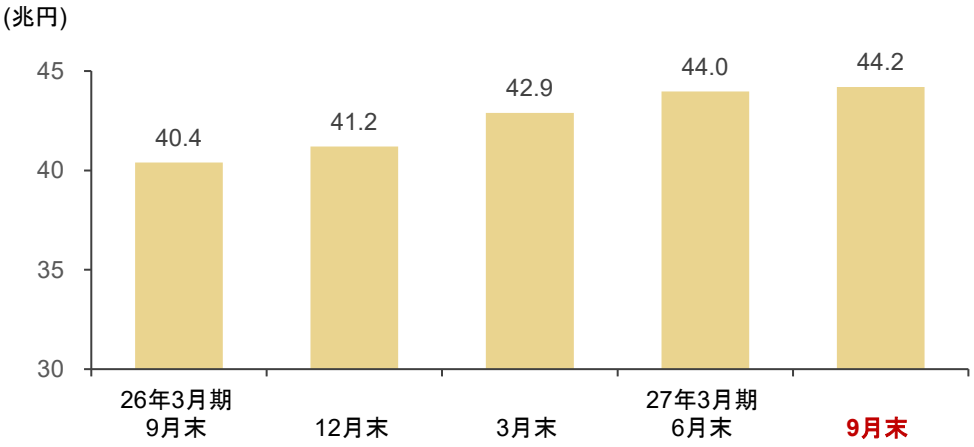
1. *銀行収益等は、主に野村信託銀行株式会社(NTB)が獲得する純金利マージン、およびNTBにおける外国為替取引に係る手数料やスプレッドなどのサービス収益で構成*
2. *信託・エージェント収益は、主に野村バンク(ルクセンブルグ)S.A.(NBL)からの収益、およびNTBにおける投資信託等の顧客資産の管理から生じる収益で構成*
3. *野村信託銀行(NTB)。譲渡性預金を除く*

バンキング部門：KPIサマリー

ローン残高(野村信託銀行)



投信受託残高[1](野村信託銀行)



KPIハイライト

ローン残高

- 野村Webローンの残高は、預金スイープを通じた顧客接点の拡大によるサービス認知度の向上も寄与し、ローン口座開設数の増加とともに伸長
- 野村アプリからの導線も改善し、顧客サービスが向上

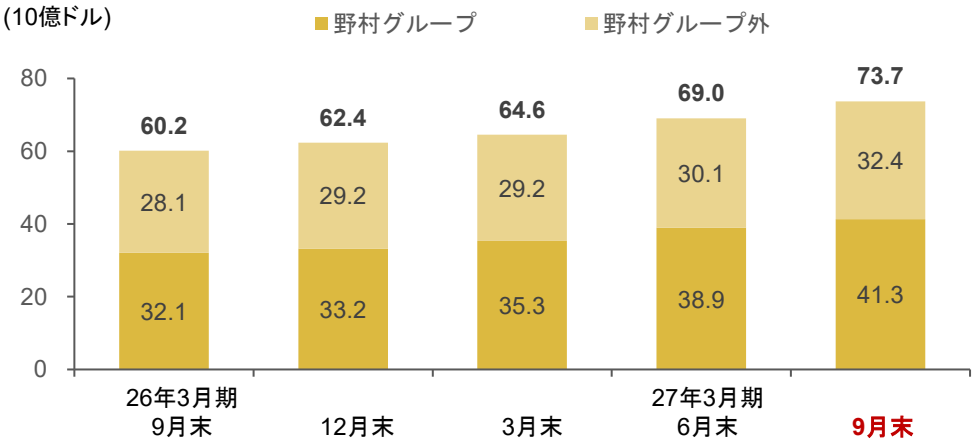
投信受託残高

- 営業戦略の強化を通じた委託会社の開拓や、新規ファンド設定の取り込みにより増加

管理資産残高

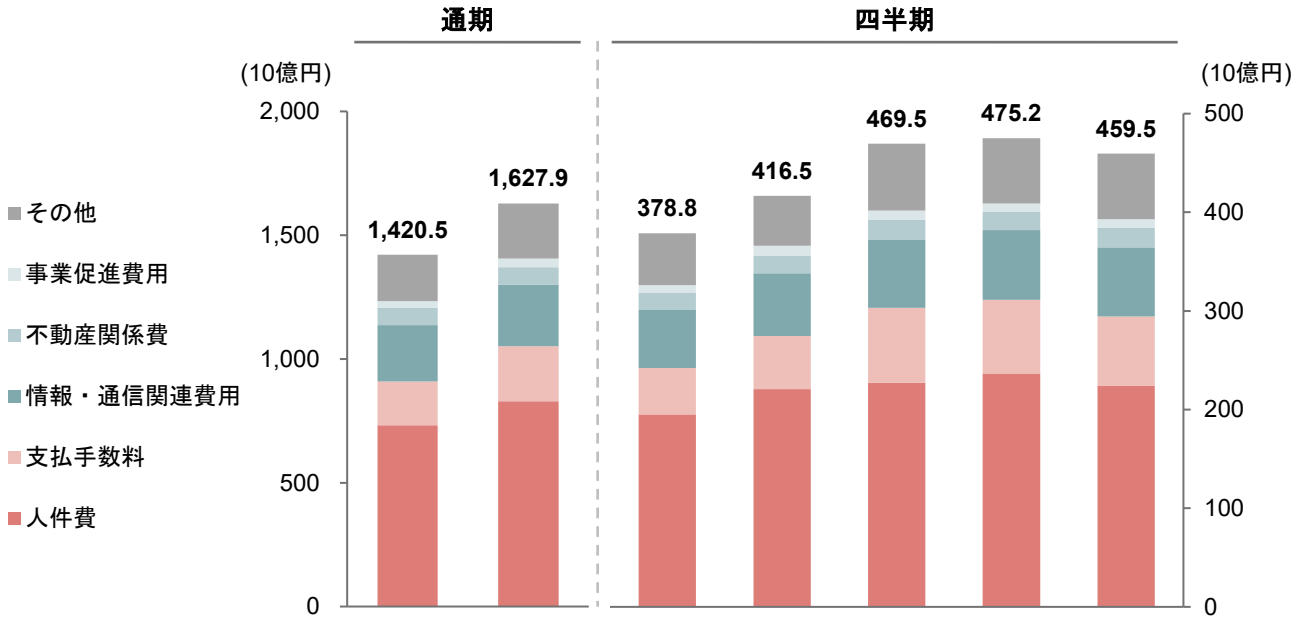
- 高品質な商品・サービスの提供を通じ、プライベートアセットに投資する公募・私募ファンドへの資金流入を継続的に取り込み、残高は拡大

管理資産残高(Nomura Bank Luxembourg)



1. 投資信託受託残高(野村信託銀行)は、各信託の直近決算時の資産額を合計したもの

金融費用以外の費用



	25年3月期	26年3月期	26年3月期 2Q	26年3月期 3Q	26年3月期 4Q	27年3月期 1Q	27年3月期 2Q	前四半期比
人件費	732.4	829.5	195.1	220.7	227.4	236.8	**224.0**	**-5.4%**
支払手数料	177.5	221.9	47.2	54.0	75.9	74.3	**70.3**	**-5.4%**
情報･通信関連費用	227.0	248.4	59.2	63.5	68.6	70.7	**70.2**	**-0.8%**
不動産関係費	70.2	71.5	17.3	17.9	20.4	18.7	**19.7**	**5.4%**
事業促進費用	27.1	33.7	7.3	10.0	9.4	8.5	**8.7**	**2.3%**
その他	186.4	222.9	52.8	50.4	67.8	66.1	**66.5**	**0.6%**
合計	1,420.5	1,627.9	378.8	416.5	469.5	475.2	**459.5**	**-3.3%**

決算のポイント

第2四半期

金融費用以外の費用: 4,595億円
(前四半期比3%減)

- 人件費 (前四半期比5%減)
  - 業績に応じた賞与引当金の調整
  - 前四半期に計上した繰延報酬に係る費用の減少
- 支払手数料 (前四半期比5%減)
  - 取引量の減少に伴い支払手数料が減少
- 不動産関係費用 (前四半期比5%増)
  - 国内外でのオフィス移転等により増加

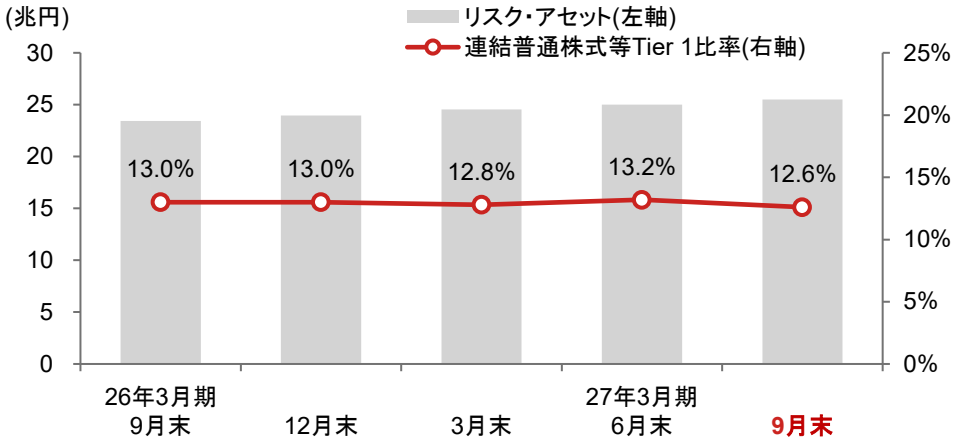
強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

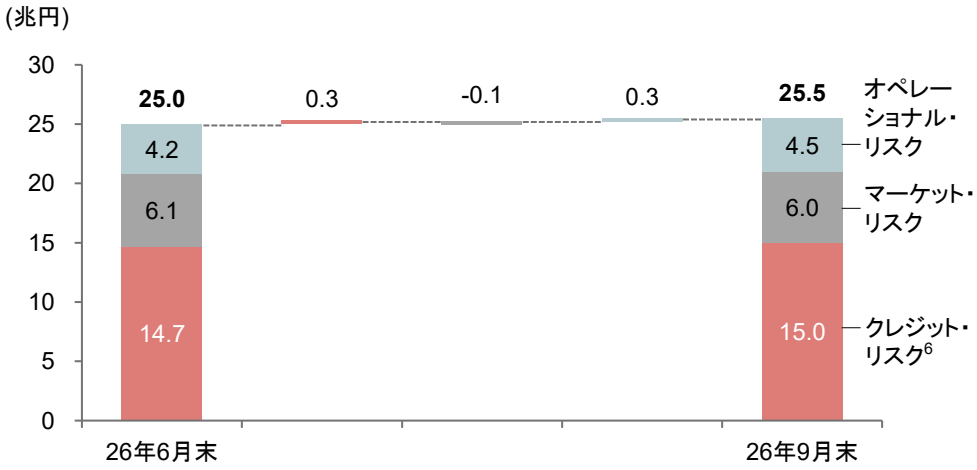
	2026年3月末	2026年6月末	**2026年9月末**
資産合計	62.6兆円	68.2兆円	**67.5兆円**
当社株主資本	3.7兆円	3.8兆円	**3.8兆円**
グロス・レバレッジ	16.9倍	17.8倍	**17.9倍**
調整後レバレッジ[1]	12.2倍	12.9倍	**13.2倍**
レベル3資産(デリバティブ負債相殺後)[2]	1.3兆円	1.3兆円	**1.3兆円**
流動性ポートフォリオ	10.7兆円	12.7兆円	**12.7兆円**

(10億円) バーゼル3ベース	2026年3月末	2026年6月末	**2026年9月末[2]**
Tier 1資本	3,843	3,762	**3,701**
Tier 2資本	189.3	239.2	**236.0**
総自己資本の額	4,032	4,001	**3,937**
リスク・アセット	24,544	25,015	**25,499**
連結普通株式等Tier 1比率[3]	12.8%	13.2%	**12.6%**
連結Tier 1 比率	15.6%	15.0%	**14.5%**
連結総自己資本規制比率	16.4%	15.9%	**15.4%**
連結レバレッジ比率[4]	5.18%	4.77%	**4.68%**
適格流動資産(HQLA)[5]	7.9兆円	8.9兆円	**9.2兆円**
連結流動性カバレッジ比率(LCR)[5]	214.0%	196.9%	**182.4%**
TLAC比率(リスクアセット・ベース)	26.7%	29.9%	**27.7%**
TLAC比率(総エクスポージャーベース)	9.9%	10.5%	**10.0%**

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率[3]



リスク・アセットの変動[2]



1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率　2. 2026年9月末のHQLA、LCRは確定数値。それ以外は暫定数値
3. 連結普通株式等Tier 1比率:Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの　4. Tier1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目 + オフバランス項目)で除したもの
5. 四半期の日次平均の値　6. クレジット・リスクにはCVAを含む

NOMURA

Financial Supplement



バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)

	2026年3月末	2026年9月末	前期比増減
資産			
現金・預金	5,649	**6,667**	1,018
貸付金および受取債権	9,543	**11,002**	1,459
担保付契約	17,550	**17,657**	107
トレーディング資産およびプライベートエクイティ・デット投資[1]	26,342	**28,217**	1,875
その他の資産[1]	3,562	**3,939**	377
資産合計	62,646	**67,482**	4,836

	2026年3月末	2026年9月末	前期比増減
負債			
短期借入	1,753	**2,001**	249
支払債務および受入預金	8,698	**9,751**	1,053
担保付調達	18,066	**19,549**	1,483
トレーディング負債	12,916	**14,946**	2,031
その他の負債	1,814	**1,676**	-138
長期借入	15,545	**15,633**	88
負債合計	58,791	**63,556**	4,765
資本			
当社株主資本合計	3,708	**3,775**	67
非支配持分	147	**150**	3
負債および資本合計	62,646	**67,482**	4,836

1. *担保差入有価証券を含む*

バリュー・アット・リスク

- VaRの前提
  - 信頼区間　：　95%
  - 保有期間　：　1日
  - 商品の価格変動等を考慮

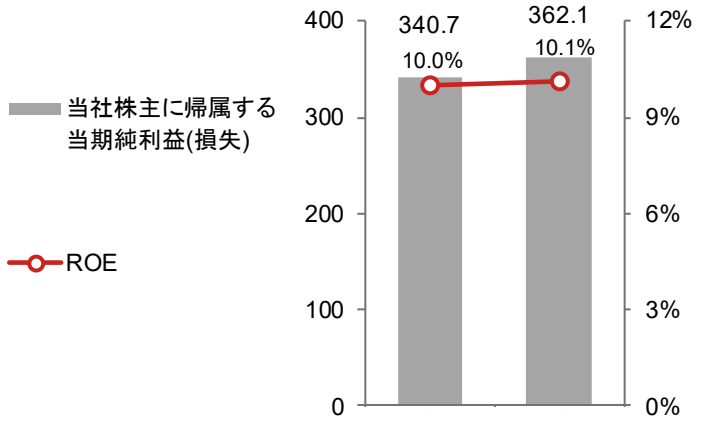
- VaRの実績(10億円)
  - 期間　：　2026.4.1～2026.9.30
  - 最大　：　7.8
  - 最小　：　5.5
  - 平均　：　6.4

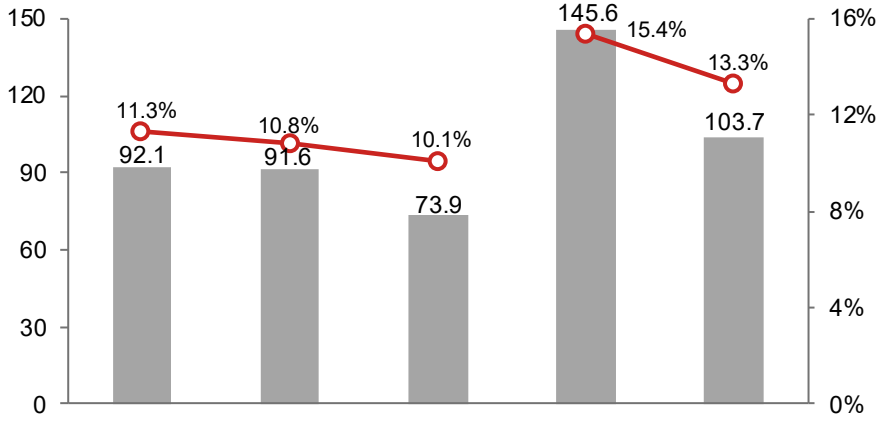
(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	**9月末**
株式関連	2.0	4.5	3.6	4.8	4.5	4.7	**4.7**
金利関連	2.1	2.9	2.2	2.6	2.9	3.2	**2.7**
為替関連	1.5	1.1	1.5	1.3	1.1	1.5	**1.7**
小計	5.6	8.5	7.3	8.7	8.5	9.4	**9.1**
分散効果	-1.8	-2.7	-2.4	-2.5	-2.7	-3.1	**-2.7**
連結VaR	3.8	5.8	4.9	6.2	5.8	6.3	**6.4**

連結決算概要

(10億円)





	2025年3月期	2026年3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,892.5	2,167.7
税引前当期純利益(損失)	472.0	539.8
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	340.7	362.1
当社株主資本合計	3,470.9	3,707.9
ROE(%)[1]	10.0%	10.1%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	115.30	123.08
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	111.03	118.99
1株当たり株主資本(円)	1,174.10	1,277.99

2026年3月期			2027年3月期	
2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
515.5	551.8	577.2	686.7	**607.5**
136.6	135.2	107.7	211.5	**148.0**
92.1	91.6	73.9	145.6	**103.7**
3,485.3	3,651.8	3,707.9	3,834.3	**3,775.3**
11.3%	10.8%	10.1%	15.4%	**13.3%**
31.34	31.21	25.29	49.90	**35.49**
30.49	30.19	24.34	48.34	**34.61**
1,188.05	1,244.72	1,277.99	1,311.94	**1,291.77**

1. *四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出*

連結損益

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益							
委託・投信募集手数料	407.0	455.3	105.0	119.2	130.4	128.2	**125.6**
投資銀行業務手数料	212.2	200.5	44.6	59.0	58.6	56.2	**57.2**
アセットマネジメント業務手数料	378.2	468.6	102.5	122.7	150.6	162.1	**171.6**
トレーディング損益	580.1	696.9	171.9	190.7	192.0	230.3	**204.6**
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	7.6	12.6	4.4	1.6	0.3	0.6	**5.4**
金融収益	2,927.9	2,669.6	652.8	712.5	654.8	698.5	**732.4**
投資持分証券関連損益	0.4	13.1	4.4	4.5	4.6	6.8	**6.2**
その他	223.3	241.8	75.6	17.8	21.5	89.0	**20.0**
収益合計	4,736.7	4,758.5	1,161.2	1,227.9	1,212.8	1,371.7	**1,322.8**
金融費用	2,844.3	2,590.8	645.8	676.2	635.6	685.0	**715.4**
収益合計(金融費用控除後)	1,892.5	2,167.7	515.5	551.8	577.2	686.7	**607.5**
金融費用以外の費用	1,420.5	1,627.9	378.8	416.5	469.5	475.2	**459.5**
税引前当期純利益(損失)	472.0	539.8	136.6	135.2	107.7	211.5	**148.0**
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	340.7	362.1	92.1	91.6	73.9	145.6	**103.7**

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)

		2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
				2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	264.5	295.2	67.2	79.9	85.3	84.7	**81.3**
	委託手数料-株式以外	17.5	20.3	4.5	3.3	7.8	6.7	**5.8**
	投信募集手数料	66.1	66.3	14.3	20.9	16.9	22.1	**18.1**
	その他手数料	58.9	73.5	19.1	15.1	20.5	14.7	**20.3**
	合計	407.0	455.3	105.0	119.2	130.4	128.2	**125.6**
投資銀行業務手数料	株式	52.9	41.0	5.0	15.1	17.3	14.7	**11.6**
	債券	48.4	47.0	11.4	10.8	10.9	14.0	**17.0**
	M&A・財務コンサルティングフィー	78.7	83.0	19.7	24.2	23.5	20.2	**20.8**
	その他	32.2	29.5	8.4	8.9	6.9	7.3	**7.7**
	合計	212.2	200.5	44.6	59.0	58.6	56.2	**57.2**
アセットマネジメント業務手数料	アセットマネジメントフィー	235.9	311.7	64.5	81.6	107.3	115.8	**121.4**
	アセット残高報酬	109.1	120.6	29.0	31.8	33.5	36.3	**38.9**
	カストディアルフィー	33.2	36.3	9.0	9.3	9.8	10.0	**11.3**
	合計	378.2	468.6	102.5	122.7	150.6	162.1	**171.6**

連結決算：セグメント情報と地域別情報　税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整：税前利益(損失)

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ウェルス・マネジメント部門[1]	166.2	204.0	45.5	58.5	61.2	71.1	**65.6**
インベストメント・マネジメント部門	89.6	88.3	30.7	17.9	18.1	45.0	**27.4**
ホールセール部門	166.3	200.6	53.1	62.3	43.2	93.3	**46.1**
バンキング部門[1]	16.4	14.0	3.2	4.2	3.0	3.6	**4.4**
4セグメント合計税前利益[1]	438.4	506.9	132.6	142.9	125.6	213.0	**143.4**
その他[1]	35.1	24.6	2.3	-10.3	-22.0	-7.0	**-1.2**
セグメント合計税前利益	473.5	531.6	134.9	132.6	103.7	206.0	**142.2**
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-1.5	8.3	1.8	2.7	4.0	5.5	**5.8**
税前利益(損失)	472.0	539.8	136.6	135.2	107.7	211.5	**148.0**

地域別情報・税前利益(損失)[2]

(10億円)

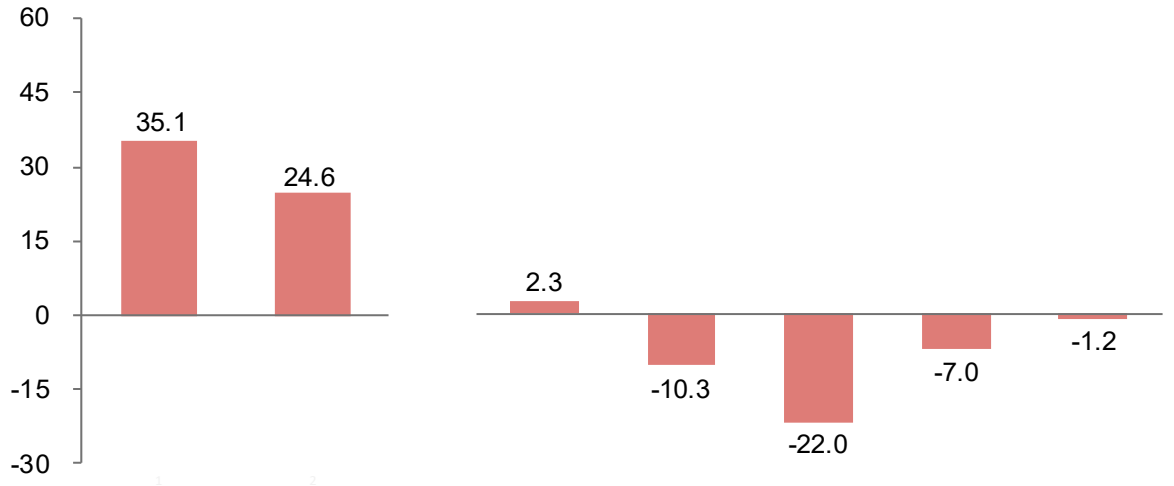
	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米　州	65.8	61.9	29.1	17.1	0.1	39.8	**9.5**
欧　州	20.3	-31.1	0.4	-10.6	-13.8	-11.7	**-7.4**
アジア・オセアニア	50.9	60.8	15.4	9.8	16.6	47.2	**24.3**
海外合計	137.0	91.5	44.9	16.3	2.9	75.2	**26.4**
日本	335.0	448.3	91.8	118.9	104.8	136.3	**121.6**
税前利益(損失)	472.0	539.8	136.6	135.2	107.7	211.5	**148.0**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*
2. *米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第2四半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではない*

セグメント「その他」

税前利益(損失)

(10億円)



	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	-5.8	-2.9	-0.2	-1.0	-2.9	-2.0	**-1.9**
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	1.5	3.3	2.2	1.1	0.0	1.2	**0.0**
関連会社損益の持分額	51.2	36.5	12.4	17.6	-6.0	10.5	**11.4**
本社勘定	-5.9	-42.0	-15.2	-9.6	-5.5	-16.0	**-4.0**
その他[1]	-5.9	29.8	3.0	-18.5	-7.6	-0.7	**-6.7**
税前利益(損失)[1]	35.1	24.6	2.3	-10.3	-22.0	-7.0	**-1.2**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)

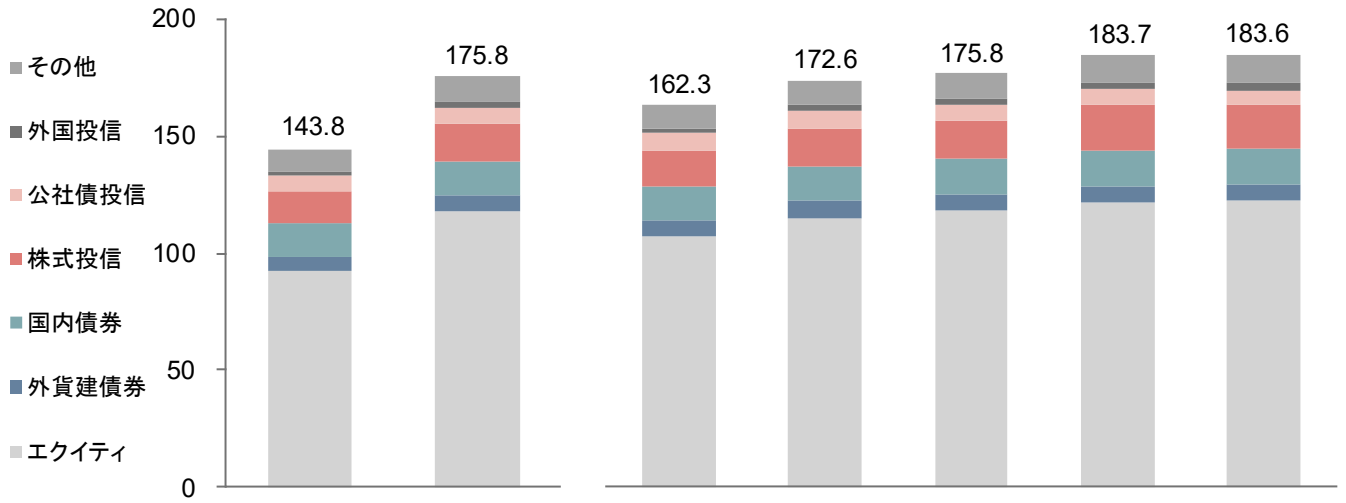
	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期		前四半期比	前年同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
委託・投信募集手数料	183.6	217.5	52.1	58.7	60.6	66.9	**55.4**	**-17.1%**	**6.5%**
うち株式委託手数料	72.2	96.0	22.7	24.7	30.3	30.9	**22.2**	**-28.1%**	**-2.0%**
うち投資信託募集手数料	65.9	66.1	14.3	20.8	16.8	22.0	**18.0**	**-18.1%**	**26.4%**
販売報酬	52.5	49.3	12.6	13.1	12.0	13.8	**16.5**	**19.3%**	**30.5%**
投資銀行業務手数料等	27.3	25.6	3.9	8.8	7.6	6.4	**6.8**	**5.9%**	**72.7%**
投資信託残高報酬等	156.7	176.1	42.9	46.4	48.1	52.5	**55.8**	**6.4%**	**30.3%**
純金融収益等[1]	13.4	19.4	5.0	5.4	4.9	5.8	**7.0**	**19.8%**	**39.7%**
収益合計(金融費用控除後)[1]	433.6	487.9	116.5	132.5	133.1	145.4	**141.5**	**-2.7%**	**21.5%**
金融費用以外の費用[1]	267.4	283.9	71.0	74.0	71.9	74.3	**75.9**	**2.2%**	**7.0%**
税前利益[1]	166.2	204.0	45.5	58.5	61.2	71.1	**65.6**	**-7.7%**	**44.0%**
国内投信販売金額	3,882.8	4,097.9	854.6	1,178.9	1,237.4	1,506.8	**1,377.9**	**-8.6%**	**61.2%**
株式投信	3,107.2	3,252.4	708.5	984.0	835.8	1,090.4	**874.0**	**-19.8%**	**23.4%**
外国投信	775.6	844.7	146.0	194.3	401.4	416.4	**503.8**	**21.0%**	**3.5x**
その他									
個人向け国債販売額(約定ベース)	317.9	278.9	33.5	80.8	82.6	102.7	**179.9**	**75.1%**	**5.4x**

1. *2025年4月のバンキング部門新設に伴い、2025年3月期以前の数字を遡及修正*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(2)

ウェルス・マネジメント部門顧客資産残高

(兆円)



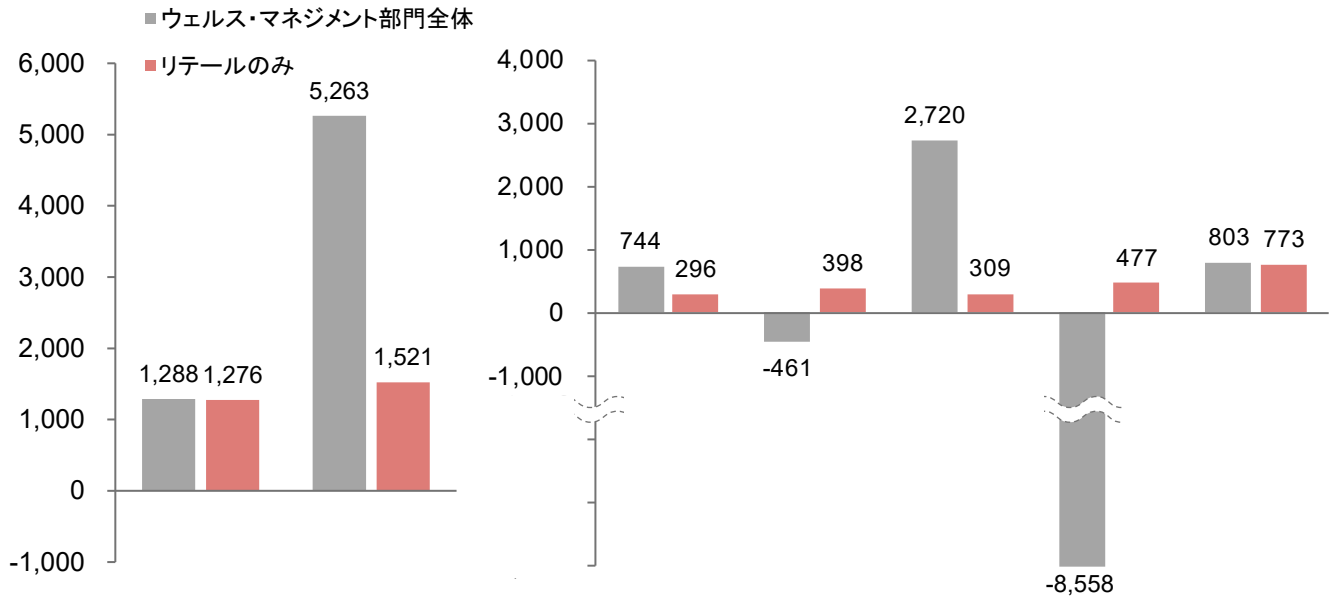
	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
エクイティ	92.2	117.6	106.2	114.3	117.6	121.0	**121.6**
外貨建債券	6.5	6.9	6.8	7.0	6.9	6.8	**6.6**
国内債券[1]	14.2	14.7	14.8	14.8	14.7	15.1	**15.5**
株式投信	13.3	16.1	15.2	16.5	16.1	19.1	**18.7**
公社債投信	6.7	7.0	7.2	7.2	7.0	6.7	**6.1**
外国投信	2.0	2.7	2.1	2.3	2.7	3.0	**3.3**
その他[2]	8.8	10.8	10.0	10.5	10.8	11.9	**11.7**
合計	143.8	175.8	162.3	172.6	175.8	183.7	**183.6**

1. *CB・ワラントを含む*
2. *年金保険契約資産残高を含む*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(3)

現金本券差引[1]

(10億円)



	2025年3月期	2026年3月期
ウェルス・マネジメント部門全体	1,288	5,263
リテールのみ[2]	1,276	1,521
入金預り[3]	6,256	7,639

2026年3月期			2027年3月期	
2Q	3Q	4Q	1Q	**2Q**
744	-461	2,720	-8,558	**803**
296	398	309	477	**773**
1,753	2,062	2,015	2,167	**2,466**

1. *地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引*
2. *リテールは、ウェルス・マネジメント部門全体の金額から、法人課、プライベート・ウェルス・マネジメントグループ及びワークプレイス・サービスを除いて算定。*
3. *リテールのみ対象*

ウェルス・マネジメント部門関連データ(4)

口座数

(千口座)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期 9月末	2026年3月期 12月末	2026年3月期 3月末	2027年3月期 6月末	2027年3月期 9月末
残あり顧客口座数	5,934	6,095	5,998	6,075	6,095	6,136	**6,172**
株式保有口座数	3,285	3,310	3,292	3,301	3,310	3,336	**3,356**
NISA開設口座数	1,779	1,900	1,816	1,877	1,900	1,919	**1,933**
オンラインサービス口座数	5,974	6,377	6,140	6,278	6,377	6,452	**6,521**

個人新規開設口座数・IT比率[1]

(千口座)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期 2Q	2026年3月期 3Q	2026年3月期 4Q	2027年3月期 1Q	2027年3月期 2Q
個人新規開設口座数	372	440	103	113	121	96	**84**
IT比率[1]							
売買件数ベース	85%	85%	85%	83%	85%	83%	**85%**
売買金額ベース	60%	59%	60%	58%	59%	56%	**58%**

1. *現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合*

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

収益合計（金融費用控除後）、税前利益/損失

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期		前四半期比	前年同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
事業収益	163.7	223.7	44.1	57.8	81.2	86.2	**82.3**	**-4.5%**	**86.9%**
投資損益	28.8	34.8	16.8	3.1	5.0	12.1	**2.5**	**-79.8%**	**-85.4%**
収益合計(金融費用控除後)	192.5	258.5	60.8	60.9	86.2	98.3	**84.8**	**-13.7%**	**39.4%**
金融費用以外の費用	102.9	170.2	30.1	43.0	68.1	53.3	**57.4**	**7.7%**	**90.7%**
税前利益(損失)	89.6	88.3	30.7	17.9	18.1	45.0	**27.4**	**-39.1%**	**-10.8%**

運用資産残高ー会社別[1]

(兆円)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期			2027年3月期	
			9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
野村アセットマネジメント	88.1	111.3	99.7	108.4	111.3	127.7	**127.4**
ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル 他[2]	5.5	34.1	9.3	34.9	34.1	37.8	**34.1**
運用資産残高(グロス)[3]	93.6	145.4	109.1	143.3	145.4	165.5	**161.5**
グループ会社間の重複資産	4.3	8.5	7.8	8.6	8.5	9.1	**8.7**
運用資産残高(ネット)[4]	89.3	136.9	101.2	134.7	136.9	156.4	**152.8**

1. *2024年4月1日付の米州の組織再編成に伴い、2025年3月期以降の野村アセットマネジメントの運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産から同額の運用資産残高が減少。2025年12月1日に買収が完了したマッコーリーグループのパブリック・アセットマネジメント事業の運用資産残高が含まれる*
2. *2025年4月1日付の野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティングのインベストメント・マネジメント部門への移管に伴い、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他の運用資産残高(グロス)並びにグループ会社間の重複資産において同額の運用資産残高が増加。野村グループの米国におけるインベストメント・マネジメント事業の中核会社であるNomura Capital Managementおよび Nomura Corporate Research and Asset Managementと 買収事業を統合した組織「ノムラ・アセットマネジメント・インターナショナル」を2025年12月に新設*
3. *インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産の単純合計(グロス)*
4. *運用資産残高(グロス)からインベストメント・マネジメント部門内の重複資産等を控除したもの*

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門　資金流出入ービジネス別[1]

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
国内投資信託ビジネス	2,113	1,204	525	71	816	-367	**1,019**
うちETF	987	-23	77	-105	673	-941	**786**
国内投資顧問・海外ビジネス他	536	-762	-26	44	-1,095	-963	**-541**
資金流出入 合計	2,648	443	498	115	-279	-1,330	**478**

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア[2]

(兆円)

	2025年3月期 3月末	2026年3月期 3月末	2026年3月期			2027年3月期	
			9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内公募投信残高							
マーケット	236.3	305.5	276.8	301.6	305.5	359.9	**361.2**
野村アセットマネジメントシェア	25%	25%	24%	24%	25%	24%	**24%**
国内公募株式投信残高							
マーケット	221.5	289.1	260.4	284.7	289.1	343.1	**345.3**
野村アセットマネジメントシェア	24%	23%	23%	23%	23%	23%	**23%**
国内公募公社債投信残高							
マーケット	14.8	16.4	16.4	16.9	16.4	16.8	**15.9**
野村アセットマネジメントシェア	44%	43%	44%	43%	43%	42%	**40%**
ETF残高							
マーケット	85.8	113.9	100.4	109.9	113.9	135.7	**136.2**
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	44%	44%	44%	44%	**44%**

1. *運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入*
2. *出所:資産運用業協会*

ホールセール部門関連データ

収益合計（金融費用控除後）、税前利益/損失

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期		前四半期比	前年同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	1,057.9	1,162.2	279.2	313.9	308.1	369.1	**308.9**	**-16.3%**	**10.7%**
金融費用以外の費用	891.7	961.7	226.0	251.6	264.8	275.8	**262.9**	**-4.7%**	**16.3%**
税前利益(損失)	166.3	200.6	53.1	62.3	43.2	93.3	**46.1**	**-50.6%**	**-13.3%**

ホールセール部門　収益の内訳

(10億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期		前四半期比	前年同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
フィクスト・インカム	499.2	509.0	121.9	136.9	125.3	139.2	**119.2**	**-14.4%**	**-2.2%**
エクイティ	375.4	459.2	113.8	119.9	127.2	179.4	**135.0**	**-24.8%**	**18.6%**
グローバル・マーケッツ	874.6	968.1	235.7	256.8	252.5	318.7	**254.2**	**-20.2%**	**7.8%**
インベストメント・バンキング	183.3	194.1	43.5	57.1	55.6	50.4	**54.7**	**8.6%**	**25.9%**
収益合計(金融費用控除後)	1,057.9	1,162.2	279.2	313.9	308.1	369.1	**308.9**	**-16.3%**	**10.7%**

人員数

	2025年3月期	2026年3月期	2026年3月期			2027年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
日本	14,877	15,017	15,144	15,061	15,017	15,339	**15,242**
欧州	3,133	3,269	3,173	3,237	3,269	3,265	**3,261**
米州	2,417	3,028	2,450	3,030	3,028	3,079	**3,070**
アジア・オセアニア[1]	6,815	7,363	7,109	7,273	7,363	7,529	**7,740**
合計	27,242	28,677	27,876	28,601	28,677	29,212	**29,313**

1. インド(ポワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2027年3月期第2四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報（「将来予測」）を含む場合があり、また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。 実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト（ https://www.nomura.com/jp/index.html ）、EDINET（ https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/week0010.aspx）または米国証券取引委員会（SEC）ウェブサイト（https://www.sec.gov）に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/